



校長室だより

令和8年度

9月19日

NO. 19

自ら想像し考える素梨っ子へ…。自らの成長のために…。

「壁打ちをすると、自分の中にあつた答えに気づいたり、これまでとは別の視点から発想できたりする効果があります。経営者は、壁打ちを上手に活用しながら、新しいアイデアを生み出しているわけです。」

『「気づき」の快感』（幻冬舎新書） 齋藤 孝著



考えながらやってみる、やりながら考える授業の一コマ。5年生はさすがに作りを行いました。

秋雨前線の雨の隙間の明るい雲のもと、昼前に数十羽というコシアカツバメが校庭を飛び回りました。校舎の中まで入りそうな勢いで、校長室の窓にも間近に鳥の影が映し出されました。素梨にはこんなにいらないのにいったいどこから…と眺めていると、昼過ぎには一気に静まり、再び寂しい重い雲が広がりました。新たな旅路の始まり、お別れのあいさつに來たようです。東京ではこの大雨で、見たことのない毒キノコが、ここぞとばかり道端に出現したとニュースが…。そういえば今年は、「秋」という言葉があまり聞こえてきません。そんな中、雨の間、素梨の蟬たちの「ツクツクボウシ」の必死の鳴き声が聞こえてきます。ゆく夏を惜しみ、来る秋を迎えるように…。自然のドラマは、いろいろ想像させてくれます。

学習指導要領の国語科の目標に「伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う」とあります。国語に限らず、目の前の事象について考え、想像することは大事なことです。人は、乳児の頃から、きつとこういう意味だろうと想像して言葉を覚え、親は子供のしぐさや言葉から子供の様子や気持ちを想像します。社会に出て、相手の様子や言葉から、相手を思いやったり、場の空気を想像したり、事態を進展させたりします。自ら、想像し考えることから、「学び」は始まると言えます。

二期は行事でも学習でも山場を迎えます。学習の中でも、「こうしたらどうなるかな」「こうすればできるかな」「○○さんの言ったことってどういうこと」「なんでそうなるのかな」…、そう想像し考えることで学習は深まります。先生や仲間の答えを待つだけでなく、多様な場面ですら想像し考えることで、自らの思考を深め、自己の成長に繋がれると考えます。

- ・本日の授業参観、ありがとうございます。あわせて奉仕活動もご協力、ありがとうございました。なお、本日の振り替え休日は11月16日（月）になります。また11月14日の学芸会の振り替え休日は、11月24日となり、その日は県民ホリデーで学校はお休みとなります。ご了承ください。
- ・市内ではインフルエンザが流行り出したと言います。2学期は行事も多くあります。手洗いうがいなど、予防に努めていきたいと思ひます。明日からの4連休の体調管理も。今後ともご支援願ひします。